

市制施行 60 周年・市町村合併 10 周年記念事業 キャッチフレーズ募集

本市は、平成 26 年 12 月 1 日に市制施行 60 周年、平成 27 年 10 月 1 日には市町村合併 10 周年を迎えます。

その記念事業の一つとして、次のとおりキャッチフレーズを募集しますので、奮ってご応募ください。

●募集内容…大田原市制施行 60 周年・市町村合併 10 周年記念事業キャッチフレーズ

●キャッチフレーズの条件

- ▶おおもね 20 文字以内。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベットの使用可。
- ▶本市の市制施行、あるいは市町村合併から今日に至るまでの本市の変遷、歴史を想起しつつ、将来に対する願いや思い、期待など、「郷土への愛」「市民の心が一つになる」「元気な大田原」などを連想させるキャッチフレーズを簡潔かつ印象的に表現すること。

●応募資格…プロ・アマ・年齢を問いません。どなたでも応募できます。

●応募期間…5月1日(木)～23日(金)

●応募方法

- ▶応募用紙またははがき 1 通につき 3 作品までとし、1 人何点でも応募できます。
- ▶メール、郵送または窓口まで直接ご持参ください。
- ※応募用紙は市ホームページ、または政策推進課、湯津上支所、黒羽支所、トコトコ大田原各階、生涯学習センター(旧大田原図書館)で配布します。
- ※はがきの場合は、キャッチフレーズ、氏名、フリガナ、年齢、職業・学校名、住所、電子メールアドレス(お持ちの方のみ)、電話番号、作品の説明(200 文字以内)を記入してください。
- ※メールの場合は、表題を「市制 60 周年・合併 10 周年キャッチフレーズ」とし、市ホームページからダウンロードした応募用紙に必要事項を記入したファイルを添付するか、応募用紙の必要事項をメール本文に記入してください。

●応募上の注意事項

- ▶作品は、自作かつ未発表の作品に限ります。
- ▶採用作品が他の著作物の著作権などを侵害する恐れのある場合は、採用を取り消します。
- ▶キャッチフレーズ決定後は、各種記念事業やイベント時の活用、市が発行する印刷物への掲載などに使用する予定です。
- ▶採用した作品を、広報媒体などに掲載する際には、字体やフォントなどにデザインを施して利用する場合があります。
- ▶採用した作品に関する著作権などの一切の権利は大田原市に帰属します。
- ▶応募にかかる費用は応募者の負担とし、提出いただいた書類などは返却しません。
- ▶提出いただいた書類は厳重に保管し、審査の用途に限り使用します。これらに記載されている個人情報には正当な理由なく第三者へ開示、譲渡および貸与することはありません。ただし、受賞者の氏名、お住まいの地域は選考結果発表のために公表することがあります。
- ▶その他、取り決めのない事項については、主催者の判断により決定します。

●賞について

- ▶最優秀賞 1 点(副賞：子育て支援券 3 万円)
- ▶優秀賞 2 点(副賞：子育て支援券 1 万円)

●審査および結果発表

- ▶大田原市市制施行記念事業準備委員会で審査し、6 月上旬に採用作品(最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点)を決定します。
- ▶審査結果は、受賞者本人に連絡した後、ホームページなどで公表する予定です。

問申 政策推進課 A 2 階

〒324-8641 栃木県大田原市本町1-4-1

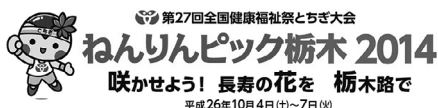
TEL(23)8701 FAX(23)8748

✉ seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

ねんりんピックとちぎ 2014 開幕!

60 歳の以上の方々を中心とするスポーツや文化の祭典「ねんりんピック(全国健康福祉祭)」がいよいよ 10 月に栃木県で開催されます。

県内 20 市町の会場で 24 種目の交流大会が開催され、本市ではダンススポーツ交流大会を行います。※ダンススポーツとは社交ダンスをより競技化したものです。



■第 9 回栃木県北ダンススポーツ大会

ねんりんピック栃木 2014 栃木県代表選手選考会

10 月に開催される、ねんりんピック本大会に栃木県代表として出場する 3 チーム(計 27 名)を選考します。

●日時…5月18日(日) 午前9時～午後6時

●場所…県立県北体育館

問 高齢者幸福課 TEL(23)3327



ご意見ありがとうございました

広報おたわらに対する

市では、より良い広報紙作りのため、毎年10名の方に「広報モニター」をお願いしています。

平成25年度も広報モニターの皆さまから貴重なご意見をいただきましたので、その一部を紹介いたします。

■記事の内容で、お気づきの点がありましたか？

●市営バスと東野バスとの連携の記事について、地図があるなどの辺を運行するのかわかりやすいと思いました。(4月号)

●市長メッセージコーナーを設けたことはとても良いと思います。場所も、表紙裏面が適切かと思えます。(4月号)

●学校給食費無料化はとも考えさせられました。たかさんの意見の賛否を読んで、ただうれいという気持ちでいいはいけないと思いました。(11月号)

●パイプオルガンコンサートのお知らせを見て、那須野が原ハーモニーホールへ行き、感動しました。もっと多くの人にパイプオルガンを聞いていただけるよう、お知らせも

大きく取り上げてほしいと思いました。(12月号)

●いつも目にしていただいていた那須神社が国指定を受けたということで、歴史的にこんな古いものなのかと、改めてびっくりしました。中には入ったことがなかったもので、特に内部の様子や建造物の詳しい説明が大変参考になりました。郷土のことをよく知るきっかけになると思います。(3月号)

■文章表現でわかりにくいところはありましたか？

●目次もあり、見やすくなったと思います。ただ、ぎゅつと詰まりすぎていて、読み終えるとかなり時間がかかりました。月一回はいいと思えますが、中身も増えると隔々まで大切なことがたくさん書かれていて、読む側も頭を使います。(4月号)

●一般会計歳入の記事において、国庫支出金、市債、県支出金の科目で、予算と収入が倍以上違うのが素人にはわかりません。差し障りのない程度に説明があるとありがたいです。(7月号)

●消費生活センター情報の記

事の中で出てきた漢字(漏洩、騙す、淘汰に繋がるなど)が難しいと思います。(7月号)

●現在の本市の財政が「健全段階」であるということに安心しました。しかし、社会情勢、高齢化社会を考えるとこれからの収入増は厳しくなると予想されます。素人にとっては、健全化判断比率、資金不足比率など、表を見てもわかりませんでした。(11月号)

■写真やデザイン・レイアウトでお気づきの点はありませんか？

●左端部に部類ごとのインデックスを設けられたので、目次と併用することで大変情報を探しやすくなった。(4月号)

●紫陽花まつりや、佐久山納涼花火大会の写真は、カラーのほうが良かったかと思えます。白黒では残念です。(6月号)

●文字の色を季節ごとに使い分けていて、おしゃれでシンブル感がありいいとおもいます。しかし、色が邪魔になり、文字を見にくくしています。黒色以外の文字はとも見にくいですが、また、文字の色と同じ色の背景色を使用している場合は、余計に文字が見にくくなります。

くくなります。

●「スナップおたわら」は毎回素敵で、見るのが楽しいです。

■今後、広報紙にどのような記事の掲載を希望しますか？

●ますます高齢化社会になり、詐欺などに騙されない秘訣のよつな知恵を教えてください。

●ごみのポイ捨ての問題は全国的なもので、大田原市も例外ではない。広報おたわらでポイ捨て防止のキャッチフレーズを広報の目立つ場所に繰り返し載せてはどうか。

●健康おたわら塾は大変ためになります。機会があれば、メンタル面とかかわりの強い病気も取り上げてほしいと思います。

●糖尿病の記事がとてもわかりやすかったです。成人病や現代病などを取り上げてもらえるかと参考になりました。(11月号)

●今回、水道料金の値上げ8%とありますが、4月からの引き上げについていろいろわかると助かります。(3月号)

■その他、お気づきの点があれば自由にお書きください。

●健康おたわら塾はこれか

らも続けてほしいと考えます。現在の病気を抱えていなくても、全体的な健康を見直したり、よく考えるきっかけになっていくと思います。

●広報5月号の特集で与一太鼓が掲載されていたので、8月の設立20周年コンサートに行きましたが、ホールは満席で、真剣な演奏に感動しました。自宅に帰り、再度5月号を読み返しました。

●特集記事は続けて掲載すると逆に心が薄れ、広報紙全体にも影響しかねないようにも思います。

●最近また地震が増えて、片隅にでも防災の備えを載せてもらえると、再確認できて安心するのではないのでしょうか。

●今年度から広報おたわらが月1回に変わりました。毎月の特集はわかりやすく、丁寧な記事で良かったと思えます。

今後ますます、情報がわかりやすく、読みやすい広報紙を目指しますので、ぜひご愛読ください。

■お問い合わせ先
TEL(23)8700
A 2階

